

ふたじま

北九州市立二島小学校
文責 校長 谷口 親史

校訓

正しく 強く 美しく
学校教育目標
互いのよさを認め合い、自分も人も大切にしようとする児童の育成

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

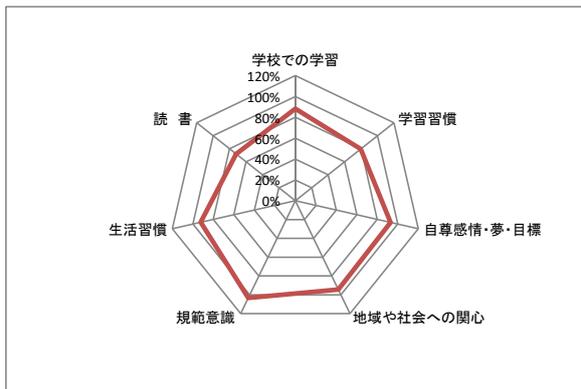
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	・【読むこと】においては全国平均正答率との開きは少ないが、【話すこと・聞くこと】【書くこと】において、全国平均正答率との開きが大きい。 ・問われたことに対して解答しない無答率は少ないが、漢字を文の中で正しく使うことに関して、無解答率が若干高かった。	下回っている
算数	・【変化と関係】においては全国平均正答率より上回っているが、【数と計算】【測定】【データの活用】において、全国平均正答率との開きが大きい。 ・問われたことに対して解答しない無答率は少ないが、与えられた説明を解釈した上で、立式をする理由を記述することに関して無解答率が若干高かった。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・基本的な生活習慣は身に付いているが、朝食を毎日食べていない状況にある児童もいる。
- ・自尊感情や規範意識が高く、決めたことをやり遂げようとして、友達と協力して活動したりする意識が高い。
- ・地域行事への参加が抜きんでて高く、地域への愛着が強い。
- ・学校での学習活動は教科を問わず積極的に取り組み、自己の表現や友達との関わり合いにおいて考えを深めている。しかし、家庭での学習や読書時間が少なく、学習したことをより定着させることに課題がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・毎時間に学習したことを学級全体や個人で必ず振り返り、次の時間への学習へつなげるようにする。
- ・補充学習として、朝自習等の時間を活用する。算数科では計算領域、国語科では学年別配当漢字の復習に重点を置いて取り組む。
- ・読書量を増やすために、全校一斉に「わたしの読書記録」の取組を継続して行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・学級担任だけでなく養護教諭や委員会活動と連携を図り、生活習慣の改善を図る呼びかけを行う。
- ・学校通信や学年学級通信等を通じて、保護者にも家庭学習や読書活動の啓発を行う。